

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成28年1月12日

東京都港区芝5-3-7
 徳栄ビル本館4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	DH クランクコーナー10 大地 枠材仕様
2. 試験依頼者	株式会社 ダイドーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「DH クランクコーナー10 大地 枠材仕様」 材質：SGHC(JIS G 3302)*1 寸法：(外寸)30mm×42mm×120mm 板厚t=3.2mm 接合具用孔 (柱側)4-φ6.7mm (土台側)2-φ6.7mm 表面処理：Z27*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「DH☆鍋頭ビス DB-100」4本 材質：AISI 1022*3 寸法：φ6.0mm L=100mm 頭部径φ9.8mm 表面処理：JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>土台側：「DH☆鍋頭ビス DB-120」2本 材質：AISI 1022*3 寸法：φ6.0mm L=120mm 頭部径φ9.8mm 表面処理：JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理*4</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：8.0～12.5% 全乾密度：0.38～0.43g/cm³</p> <p>土台(横架材)：105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率：7.5～12.0% 全乾密度：0.43～0.45g/cm³</p> <p>枠材(柱側)：105mm×45mm L=400mm スギ 無等級材 含水率：9.0～12.5% 全乾密度：0.35～0.39g/cm³</p> <p>枠材(土台側)：105mm×30mm L=100mm スギ 無等級材 含水率：11.0～12.5% 全乾密度：0.36～0.39g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱と枠材(柱側)の接合：鉄丸くぎN75 2本</p> <p>*1 SGHC・SGCC(JIS G 3302) 又は相当材 *2 Z27 又は相当の処理 *3 SWCH22A(JIS G 3507-2) 相当材 *4 本試験ではノンクロムスパート処理を用いた</p>
6. 試験条件等	試験体は実状に合わせ、接合金物と柱および土台(横架材)間に枠材(柱側：厚さ45mm、土台(横架材)側：厚さ30mm)を介して接合した。 試験体の固定：柱芯から土台(横架材)両木口側に400mmの位置にM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて、20N・mのトルク値で鉄骨架台に固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 10.5 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年12月2日、3日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成28年1月12日

東京都港区芝5-3-3
 徳栄ビル本館4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 川股孝志



1. 接合金物名称	DH クランクコーナー10 大地 杵材仕様
2. 試験依頼者	株式会社 ダイドーハント 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「DH クランクコーナー10 大地 杵材仕様」 材 質: SGHC(JIS G 3302)*1 寸 法: (外寸)30mm×42mm×120mm 板厚t=3.2mm 接合具用孔 (柱側)4-φ6.7mm (土台側)2-φ6.7mm 表面処理: Z27*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 「DH☆鍋頭ビス DB-100」4本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm L=100mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理 *4</p> <p>土台側: 「DH☆鍋頭ビス DB-120」2本 材 質: AISI 1022*3 寸 法: φ6.0mm L=120mm 頭部径φ9.8mm 表面処理: JIS H 8610(電気亜鉛めっき)Ep-Fe/Zn5/CM2 又は同等以上の処理 *4</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率:8.0~12.0% 全乾密度:0.39~0.43g/cm³</p> <p>土台(横架材): 105mm×105mm×400mm スギ 無等級材 含水率:8.5~12.5% 全乾密度:0.44~0.47g/cm³</p> <p>杵材(柱側): 105mm×45mm L=400mm スギ 無等級材 含水率:9.0~10.0% 全乾密度:0.36~0.41g/cm³</p> <p>杵材(土台側): 105mm×30mm L=60mm スギ 無等級材 含水率:10.5~12.0% 全乾密度:0.41~0.46g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱と杵材(柱側)の接合: 鉄丸くぎN75 2本</p> <p>*1 SGHC・SGCC(JIS G 3302) 又は相当材 *2 Z27 又は相当の処理 *3 SWCH22A(JIS G 3507-2) 相当材 *4 本試験ではノンクロムスパート処理を用いた</p>
6. 試験条件等	試験体は実状に合わせ、接合金物と柱および土台(横架材)間に杵材(柱側:厚さ45mm、土台(横架材)側:厚さ30mm)を介して接合した。 試験体の固定: 柱芯から土台(横架材)木口側200mmの位置にM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて、20N・mのトルク値で鉄骨治具に固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 11.5 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成27年12月3日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。